

平成25年度 次世代育成支援事業報告書

笠岡市老人クラブ連合会白石島地区老人クラブ連合会

① 地 域 の 概 況	<p>笠岡市の離島に位置し人口約600人、高齢化率60%の地区。 現在、幼稚園は休園となって、小学校があるのみとなっている。 島嶼部において2番目に大きな島で、地区内全体を移動するには車やバイクが必要となってくる。また大きな産業として観光残業があり、関西圏を中心とした修学旅行の受け入れや、夏を中心に海水浴客などの行楽客が多く訪れている。さらに国の無形文化財の「白石踊り」は島内高齢者が中心となって地元の小中学生に継承し受け継がれている。</p>
② 活 動 状 況	<p>地区老連内には5つの単位クラブで活動を行っているが、地区老連として集まっているさまざまな活動を行い、島内の高齢者の生きがいと健康づくり活動の中心となっている。 島内には娯楽施設がないことから、老人クラブ会員が中心となってグランドゴルフをほぼ毎日練習したりし、その中で交流を深めている。</p>

<p>③</p> <p>活動の 効果</p>	<p>本事業を行うことで、島内の様々な団体との連携が生まれた。</p> <p>生きがいサロン活動の開催頻度が少なかったことから、体操教室や七夕、世代交流などが行われて島民に刺激が生まれ活性化された。</p> <p>また、慰霊祭についても会員のご家族の供養を合同で行えたことで、地域全体が一丸となり、よいPRにもなった。</p> <p>さらに、普段お客を迎え入れるという形でかかわっていた地引網も地元のメンバーで行えたことから子供たちにとっても楽しい思い出となり、また老人クラブ会員にとっては地元の子供たちとゆっくり会話が行えた時間となった。</p>
<p>④</p> <p>課題・ 問題 点</p>	<p>このたび助成金を活用してのイベントの開催だったが、イベントを継続させていくためには財源を安定的に確保していく必要がある。一部関係団体に運営の中心をまかせていくことも始まっているが、今以上の参加者負担による維持も検討していきたい。</p> <p>近年、まちづくり協議会などの組織も生まれてきたが、地区内の様々な団体と協議して役割分担をしていくことが必要となってきた。老人クラブとしても島民のほとんどが高齢者となっている中で、会員を中心に島内の高齢者が生きがいをもって充実した暮らしができるよう事業展開を行いたい。</p>
<p>⑤</p> <p>今後の 進め 方</p>	<p>高齢者がほとんどの島にとって必要なことは何か、といったことを協議して事業の継続化を図りたい。</p>